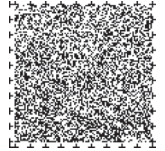


社会福祉法人 創文会
相談支援事業所 ハートピア出雲 情報誌「トピア」



Topia

第56号



<発行所>
相談支援事業所
ハートピア出雲

〒693-0014
出雲市武志町 693-6
Tel: 0853-23-2720
Fax: 0853-23-2721
E-mail: shien@heartpia.or.jp
ホームページ
<http://www.heartpia.or.jp>

島根県広報からのお知らせです

新型コロナウイルス感染拡大防止のために大型連休に向けてのお願い

大型連休を前にして、県内への帰省や旅行を検討されている県外のご家族やご親戚の方などもいらっしゃると思います。県民の皆さまには、次の点にご協力をお願いします。

1. 県外との往来について

- (1) まん延防止等重点措置を実施すべき区域である宮城県、東京都、京都府、大阪府、兵庫県及び沖縄県からの帰省や旅行などについては、控えていただくよう県外のご家族やご親戚の方にお伝えください。また、これらの地域への帰省や旅行についても控えてください。
- (2) 北海道札幌市、山形県山形市、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、香川県、愛媛県松山市などのように、各都道府県が住民に対して、不要不急の外出自粛を要請している地域からの帰省や旅行などについては、ご家族と相談するなどして、慎重な判断してください。また、これらの地域への帰省や旅行などについても、慎重に判断してください。

※いずれの場合も、発熱等の症状がある場合は、帰省や旅行などは、控えてください。

※発熱等の症状がある場合を除き、やむを得ない仕事や、転勤、就職活動、葬儀、看病・介護などでの往来を、控えていただく必要はありません。

2. 帰省・旅行の際にも感染対策を！

- (1) ご家族やご親戚の方が帰省や旅行される場合、出発前の2週間は、感染リスクが高まる「5つの場面」に注意するとともに、3つの密の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生などの「基本的な感染対策」を徹底してください。

※「5つの場面」とは、飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりをいいます。

- (2) 帰省して、実家等で生活を共にする場合にも、感染リスクが高まる「5つの場面」に注意するとともに、「基本的な感染対策」を徹底してください。

- (3) 自宅での感染予防対策の徹底が難しい場合には、宿泊について、ホテルや旅館の利用も検討してください。

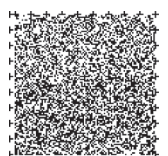
注) この内容は、4月12日現在のものです。今後の状況により変更することがあります。

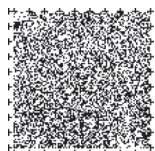
※最新の情報は

令和3年4月14日付け山陰中央新報の島根県広報から抜粋しました。

もくじ

- コロナ感染拡大防止のお願い・・・・・・・・・・・・・・1 p
- ろうあ連盟記念映画『咲む』上映会・・・・・・・・・・・・2 p～3 p
- 映画『えんとつ町のプペル』鑑賞・・・・・・・・・・・・・・3 p
- iPad を頂いたお礼＆新人紹介・・・・・・・・・・・・・・4 p





全日本ろうあ連盟創立 70 周年記念映画『咲む』上映会

全日本ろうあ連盟は 1947（昭和 22）年に発足し、以来、ろう者の社会参加と自立のための福祉運動を全国的に展開してきており、2017 年、創立 70 周年を迎えました。それを記念して映画『咲む』をろう者である早瀬憲太郎が脚本・監督を務め、ろうのアーティストによる映像文化を新たに創造しました。この映画の上映に向けては、「手話を広める知事の会」など多くの関係団体の協力のもと、より多くの方々に観ていただけるよう、全国各地で精力的に取り組むことになりました。

昨年 6 月に開催予定であった第 68 回全国ろうあ者大会での上映会は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となり、神奈川県横浜市で 8 月に全国初上映会が開催されました。

県内では出雲市からスタートし、4 月 25 日：平田文化館、6 月 20 日：斐川文化会館、9 月 19 日：ビッグハート出雲で上映することになりました。いずれの会場とも午後 1 時 30 分から上映開始予定です。チケットは高校生以上 1,200 円、小中学生は 500 円、幼児は無料です。どの会場でも新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組むことにしています。（文：ワークセンタフロンティア利用者 島根県ろうあ連盟事務局長 大滝 浩司）



<ストーリーの概要>

看護師試験に合格したろうの女性：瑞月（みづき）は、就職活動で苦戦。そんな折、ある山間僻地の診療所で雇われる話が舞い込み、意気揚々と村にやってきた瑞月。しかし、採用は見送られることになり、落ち込む瑞月に役場から別の仕事が紹介されます・・・。

村に住みながら懸命に取り組む瑞月だったが、様々な壁が瑞月を阻んでいく。相手を想っての行動が思わぬすれ違いを生み、そのわだかまりを解くこともできずに苦しんでいる大人たち。瑞月の起こす行動は、そんな大人たちを少しずつ変えていくこととなり、そして、村も大きく変わっていくことに・・・。

この映画では、「障害」とは何か？、そして、手話の魅力の再発見、人と人の温かさ、つながりの大切さを感じてもらえると思います。

【『咲む』とは？】

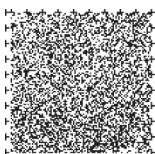
「笑う」という言葉の古語の語源となる言葉。

意味は①笑い顔になる。②花が咲きはじめ、つぼみがほころぶ③果実が熟する。



手話言語では、右手人差し指を頬に当てて、えくぼを表し、前に向けて右手で、多くの花が咲くさまを表します。

「多くの花が咲き、多くの笑顔があふれる、周りを幸せにする」という意味が込められています。『咲む』の手話表現は、全日本ろうあ連盟が（社福）全国手話研修センター日本手話研究所の協力を得て、確定了しました。



今回の映画「咲む」にはもう一つの見どころがあります。それは映画に登場する加古川リュウ子役に、本誌でも以前取り上げた骨形成不全症の伊是名夏子さんが選ばれたことです。劇中の加古川リュウ子も骨形成不全症ゆえに酪農家の両親から過剰に気を遣われ、大事に育てられ誰にも会わずにひっそりと家の中で暮らしていました。ところが、いつも明るく行動する瑞月（藤田奈々子）に接するうちに、次第に自らも前向きに変わっていくという女性です。その女性をどう伊是名夏子さんが演ずるのかも今回の楽しみの一つです。

骨形成不全症の方がこうして映画俳優としてスクリーンで活躍されるのが当事者仲間として私も嬉しく思いますし、陰ながら応援します。（文：ワークセンタフロンティア利用者 米山修二）



●伊是名夏子さん（写真左）と瑞月役の藤田奈々子さん

画像提供：（一財）全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画『咲む』上映推進委員会



あのキングコング西野亮廣さん制作 映画「えんとつ町のプペル」を観に行きました！

お笑い芸人から絵本作家に転身された西野亮廣さんが2016年に絵本として出版され、その後2020年に映画化され全国上映された「えんとつ町のプペル」。その映画前売り券を子どもたちにプレゼントするクラウドファンディングに保護者の尾添由美子さんが応募してくださり、ハートピア出雲に映画の券が届き、皆さんで観に行きました。

映画を観たお子さんや保護者さんから感想をいただきましたので一部ご紹介いたします。
（文：放課後等デイサービス ステップ児童発達支援管理責任者 佐々木 圭子）

とても面白かったです。ルビッチが、
勇気があってすごいと思いました。



ゴミ人間がおもしろかった。ドキッとするばめんがあってこわかったです。でもさいごのおんがくがおもしろかった。



子どもにとって勇気をもらい、親にとって子育てのヒントをもらい、背中を押してもらえたような気持ちで映画館を出ました。



映画『えんとつ町のプペル』公式サイト <https://poupelle.com>

JAIFA様からiPadをいただきました！

令和3年1月にJAIFA（公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）様から、「愛のドリーム募金」として、iPadをいただきました。

iPadに触れる機会を持ち、その幅広い使い方を知りながら、子どもたちの感性が豊かに、また興味関心が広がり深まることできればと思っています。

（文：放課後等デイサービス ステップ児童発達支援管理責任者 佐々木 圭子）



●画面に指で触れて書ける

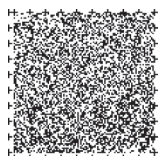


よろしくお願いします！～新人職員の紹介～



高橋 秀明

4月1日より放課後等デイサービス ステップに勤務しています高橋秀明です。
まだ慣れない事が多くご迷惑をおかけする事がたくさんあると思いますが勤儉力行、日々の積み重ねで頑張っていきますのでご指導よろしくお願い致します。



編集 後記

◆今年の桜の開花は平年よりかなり早かったですね。松江で3月14日に咲くなど観測史上最も早い開花になった地域が多かったようです。レジャーシートを敷いて飲食をしながら皆でワイワイ賑やかに花を愛でる・・・そんなお花見は今年もできない状況でしたが、それでも人と密にならないように気を付けながらマスクをして桜並木を歩いて私も楽しみました。来年こそは例年のようなお花見の光景が見れるといいですね。【編集長 米山】